

7 アフターサービス

保証期間中は、保証規定に基づいて修理致します。保証書は、故障の修理時またはスペアリモコンの作成時等に必要となります。必要事項が記入されていることをご確認の上、大切に保管してください。また、保証期間後の修理については、販売店または取付店にご相談ください。

なお、移転等の理由により販売店または取付店と連絡が取れない場合は、下記の発売元までお問い合わせください。

アフターサービスのお問い合わせ窓口

発売元： 株式会社 シーディートレーディング
 〒399-8303 長野県安曇野市穂高 7557-1
 TEL 0263-81-1189 FAX 0263-84-0089
 URL : <http://es89.com>
 e-mail : info@cdt.jp

Pico950 II-US1901-01

保証書

製品名	Pico 950 II	シリアル No.	
保証期間	お買い上げ日（西暦）	年 月	日より3年間
お客様	お名前 様 〒 ご住所	TEL.	- - -
販売店様	〒 印 TEL. - - -		

株式会社 サーキットデザイン

〒399-8303 長野県安曇野市穂高 7557-1
[URL : http://www.circuitdesign.jp](http://www.circuitdesign.jp)

取扱・取付説明書

双方向テレコントロールエンジンスターター

Pico 950 II

はじめに

このたびは、双方向テレコントロールエンジンスターターをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本製品は、自動車のエンジンコンディションを整えるためのウォーミングアップ、寒冷地での暖機運転、酷暑時での車内の冷房等をするために、遠隔操作によってエンジンのスタート／ストップ等を行う機器です。

ご使用の前に、この取扱・取付説明書をよくお読みの上、注意を守って正しくお使いください。



警告

- お客様ご自身での取り付けは危険ですので、取り付けはお買い求め店にご相談ください。
- 本製品を分解・改造しないでください。また、本来の目的以外のご使用は危険ですのでやめください。
- 排気ガスの充満しやすい場所及び公道でのエンジン始動は行わないでください。

注意事項の見方……2

使用上のご注意……2~6

1. エンジンスターターの使い方……7

1. このように構成されています

各部のなまえ／リモコンの正しい使い方

2. 動かしてみましょう

エンジンを始動する／エンジン始動の確認をする／エンジンを止める／エンジン始動・停止の動作条件について／リモコンのエラー表示について

3. 便利な機能

インフォメーション／ドアタイマー／アフターアイドリング／オートライトキャンセル／スリープタイマー

4. 機能の設定

①初期設定／②アイドリング時間の設定／③ドアタイマーの設定／④アフターアイドリングの設定／⑤クランク時間の設定／⑥車種の設定

5. こんなときは（Q&A）

2. エンジンスターターの取り付け方……27

取り付け上のご注意……28

1. 梱包内容

梱包内容／梱包内容の他に必要なもの

2. 取り付け前の準備

揃えておきたい主な工具／エレクトロタップでの分岐接続方法／接続先の信号一覧／接続の概念図（システム図）

3. 取り付け作業

取り付けの前に／①アンテナユニットの取り付け／②専用ハーネスの取り付け／③CN2配線の接続／④ハーネス・アンテナケーブルの接続／⑤初期設定／⑥動作チェック／⑦リレーユニットの取り付け／⑧取り付け後の配線処理／⑨機能の設定／⑩設定のリセット／⑪リレーユニットのブザーアンサーバック表

4. 電池交換について

電池交換のしかた

5. 主な仕様

6. スペアリモコンについて

7. アフターサービス

注意事項の見方

この「取扱・取付説明書」に書かれている注意事項は、製品を安全に正しく最良の状態でお使いいただき、あなたや他の方々への危害や損害を未然に防止するためのものです。

注意事項の意味



取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負う危険が想定される内容、及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の意味



禁止事項を示しています。



しなければならないことを示しています。

使用上のご注意



本製品を安全に、最良の状態でご使用いただくために、必ずお読みください。



この取扱・取付説明書に関する注意事項

- ご使用になる前に、本冊子を良くお読みになって正しくお使いください。
- お読みになった後は、この「取扱・取付説明書」を車検証入れ等に保管し、お使いになる方がいつでも見ることができるようにしてください。
- 本製品を別の車に取り付け直す場合は、「取扱・取付説明書」を同様に保管し、お使いになる方がいつでも見ができるようにしてください。また「警告ラベル」が無い場合は販売店より入手してください。
- 本製品を譲渡される場合は、「取扱・取付説明書」と「保証書」を一緒に譲りください。また「警告ラベル」を販売店より入手して一緒に譲りください。

ご利用にあたっての注意事項

- 本製品は、当社の車種別ハーネス適応表、またはインターネットのホームページで適応している、国産のオートマチック車専用です。それ以外の車種には取り付けできません。
- 取り付けは、概念的な説明で確実に取り付けができる、専門の知識を持った技術者が行うようにしてください。お客様ご自身で取り付けた場合は、保証の対象になりません。
- 本製品を分解・改造はしないでください。分解・改造をされた場合の保証はいたしません。また本来の目的以外のご使用は危険ですのでおやめください。



- 「警告ラベル」がエンジンルーム内に貼られていることを確認してください。もし、貼られていない場合は販売店または取付店に貼るようにお願いしてください。警告ラベルが無い状態で車両の点検整備をした場合、事故を起こす危険があります。

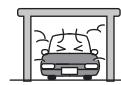


- 取り付けには、当社製の車種別専用ハーネス（別売）が必要になります。販売店にご相談ください。それ以外のハーネスを取り付けた場合は、本製品の保証の対象となりません。
- 本製品は、他社のターボタイマー、またはセキュリティシステム（車両メーカー純正を含む）等との併用はできません。
- 車両側の純正キーレスエントリーシステム（電子キーシステム等によるドアロック／アントロックも含む）は、エンジンスターターによるアイドリング中には作動しない車種があります。車両側の純正キーレスエントリーまたは電子キーシステムを使用する場合は、エンジンスターターの「STOP」操作でエンジンを停止させてから操作をしてください。
- 取り付ける車種により、使用できない機能があります。販売店、取付店にお問い合わせください。

使用時の注意事項



警 告



屋内でエンジンを始動しない

- 車庫などの換気の悪い屋内では、絶対にエンジンを始動しないでください。排気ガスにより、中毒や窒息の恐れがあります。



ボディーカバーを掛けたままエンジンを始動しない

- 車両にボディーカバーを掛けたままでは、絶対にエンジンを始動しないでください。排気ガスにより中毒や窒息のおそれがあります。また、高熱の排気ガスによる火災の危険があります。



車内に人やペットを乗せたままでエンジンを始動しない

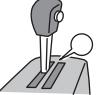
- 人（特にお子様）やペットが車内にいるときは、絶対にエンジンを始動しないでください。エンジンの動いている車両を操作したり、ペットの思わず動きが重大事故につながる恐れがあります。

!**安全な整備を行うために**



- 車両の点検整備を行う際は、車両のバッテリー端子の（-）を外して行ってください。万が一、エンジンが始動した場合は重大事故につながる恐れがあります。
- 点検整備を依頼する場合は、エンジンスターター装着車であることをお伝えください。
- 安心して点検整備をするために、ボンネットセンサー（オプション）を装着することをお勧めします。

🚫 「N」レンジでは使用しない



- エンジンスターターは「P」レンジで使用してください。「N」レンジで使用すると、エンジンの振動で車両が動き出し重大事故につながる恐れがあります。

!**周囲の安全を確認する**



- 車両の周囲の安全を十分確認できる場所（人やペットが近くにいない）でご使用ください。
- 傾斜地に駐車したときは、エンジンスターターによるエンジン始動を行わないでください。
- 車両の整備・点検時には、エンジンスターターによるエンジン始動を行わないでください。
- 公道ではエンジンスターターによるエンジン始動を行わないでください。



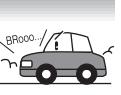
注意

🚫 暖気運転直後は運行前点検をしない



- 車の暖気運転を行った直後に運行前点検を行うと、火傷の恐れがあります。エンジン停止後、5分以上経過してから火傷の恐れのないことを確認した上で運行前点検を行ってください。

🚫 迷惑なアイドリングはしない



- 環境保護のため、周りに迷惑をかけないためにも必要以上のアイドリングは行わないでください。

!**車両駐車時の注意事項**



- オートライトスイッチ、ワイパースイッチ、オートアンテナ付きラジオ等はスイッチを「OFF」にしてください。
- パーキングブレーキをかけてください。
- シフトレバーを「P」にしてください。
- 全ての窓を閉め、全てのドアを施錠（ロック状態）してください。

!**極寒ではエンジンがかかりにくいこともあるので整備をする**



- 寒冷地ではエンジンのかかりにくいこともあります。車両のキー操作のみで1秒以内のクランキング時間で、エンジンが始動するように車両を整備してください。

!**充電警告灯の点灯時はまず点検・整備を**



- 車両のキー操作でエンジンを始動した後に、車両の充電警告灯（CHGランプ）が消えない場合は、エンジンスターターを使用せずに車両の点検整備をしてください。

リモコンに関する注意事項



警 告

!**リモコンは安全な場所に保管する**



- リモコンは小さなお子様の手の届かないところに保管してください。リチウム電池を飲み込んだり、アンテナ等で目を突いてけがをしたり、誤って操作をして重大な事故につながる恐れがあります。
 - リモコンのリチウム電池は充電、ショート、分解、変形、加熱、火に入れる等はしないでください。発火、発熱、破裂の原因となります。また、電池を破棄する場合及び保存する場合にはテープ等で絶縁してください。他の金属や電池と混ざると発火、破裂の原因となります。
- 幼児等が万一電池を飲み込んだ場合には直ちに医師とご相談ください。



注 意

🚫 高温、多湿な場所に置かない



- リモコンは直射日光下の高温になる場所、湿気の多い場所、極端な温度になる場所（70℃以上、または-20℃以下）には置かないでください。リモコンを傷めたり、その後にご使用になると正常に作動しない場合があります。

🚫 落としたり、ぶつけない



- リモコンを落としたり、固いものにぶつけたり、アンテナに無理な力を加えないでください。故障の原因になります。

🚫 水に浸けない



- リモコンは簡易防滴構造になっていますが、水没等で水に浸かると内部まで浸水して故障の原因になる恐れがあります。

!**中性洗剤で汚れをふき取る**



- 汚れを落とすには、薄めた中性洗剤をしみこませた布で拭いてから、乾拭きしてください。ベンジン、シンナー、化学ぞうきんは使用しないでください。汚れが落ちなくなったり、傷を付ける恐れがあります。

道路交通法に関する注意



警 告

🚫 公道でのエンジンスターターの使用禁止



- 公道で車両のエンジンをかけたままで放置することは禁止されています。違反すると道路交通法違反になります。エンジンスターターは私有地のみでご使用ください。

🚫 条例によるアイドリングの禁止



- 地域により、車両の停止中にみだりにエンジンを稼働させた場合、条例により罰則を受ける場合があります。エンジンスターターは、地域の条例を確認してからご使用ください。

電波法に関する注意事項



警 告

（） 分解、改造または海外での使用禁止

- 本製品のリモコン、及びリレーユニットは、電波法に基づく特定小電力無線機器として、技術基準適合証明（利用に関して、お客様の免許申請等の手続きは不要）を受けています。必ず次のことを守ってお使いください。

- 分解・改造をしないでください。リモコンは電池交換のためにバッテリーカバーを外すことはできますが、それ以上の分解・改造は法律で禁止されています。

- 技術基準適合ラベルははがさないようにしてください。ラベルのないものは使用が禁止されています。

- この製品は外国の電波法には準じておりません。日本国内でご使用ください。
This product is for the use only in JAPAN.

- また、この製品は混信防止機能として識別符号自動送受信機能を搭載しており、他のシステムに不具合を与えるかもしれません。

（） 空港施設・航空機内での使用禁止

- 空港施設内及び周辺では、本製品を使用しないでください。また、航空機内へ本製品（リモコン）を持ち込む場合は、動作をさせない（スイッチを押さない）ようにしてください。

（） 付属のアンテナユニットを使用する

- 必ず付属のアンテナユニットを使用してください。付属品以外のアンテナを取り付けすると電波法違反になります。

その他の注意事項



注 意

（） オプション部品（別売）に関する注意事項

- 別売のオプション部品の使用方法、取り付け方法については、オプション部品に付属（同梱）の取付・取扱説明書をお読みください。

1 エンジンスターターの使い方

1. このように構成されています

各部のなまえ	8
リモコンの正しい使い方	9

2. 動かしてみましょう

エンジンを始動する	11
エンジン始動の確認をする	12
エンジンを止める	12
エンジン始動／停止の動作条件について	13
リモコンのエラー表示について	14

3. 便利な機能

インフォメーション	15
ドアタイマー	15
アフターアイドリング	16
オートライトキャンセル	16
スリープタイマー	16

4. 機能の設定

① 初期設定	17
② アイドリング時間の設定	18
③ ドアタイマーの設定	20
④ アフターアイドリングの設定	21
⑤ クランキング時間の設定	22
⑥ 車種の設定	23

5. こんなときは(Q&A)

1

2

3

4

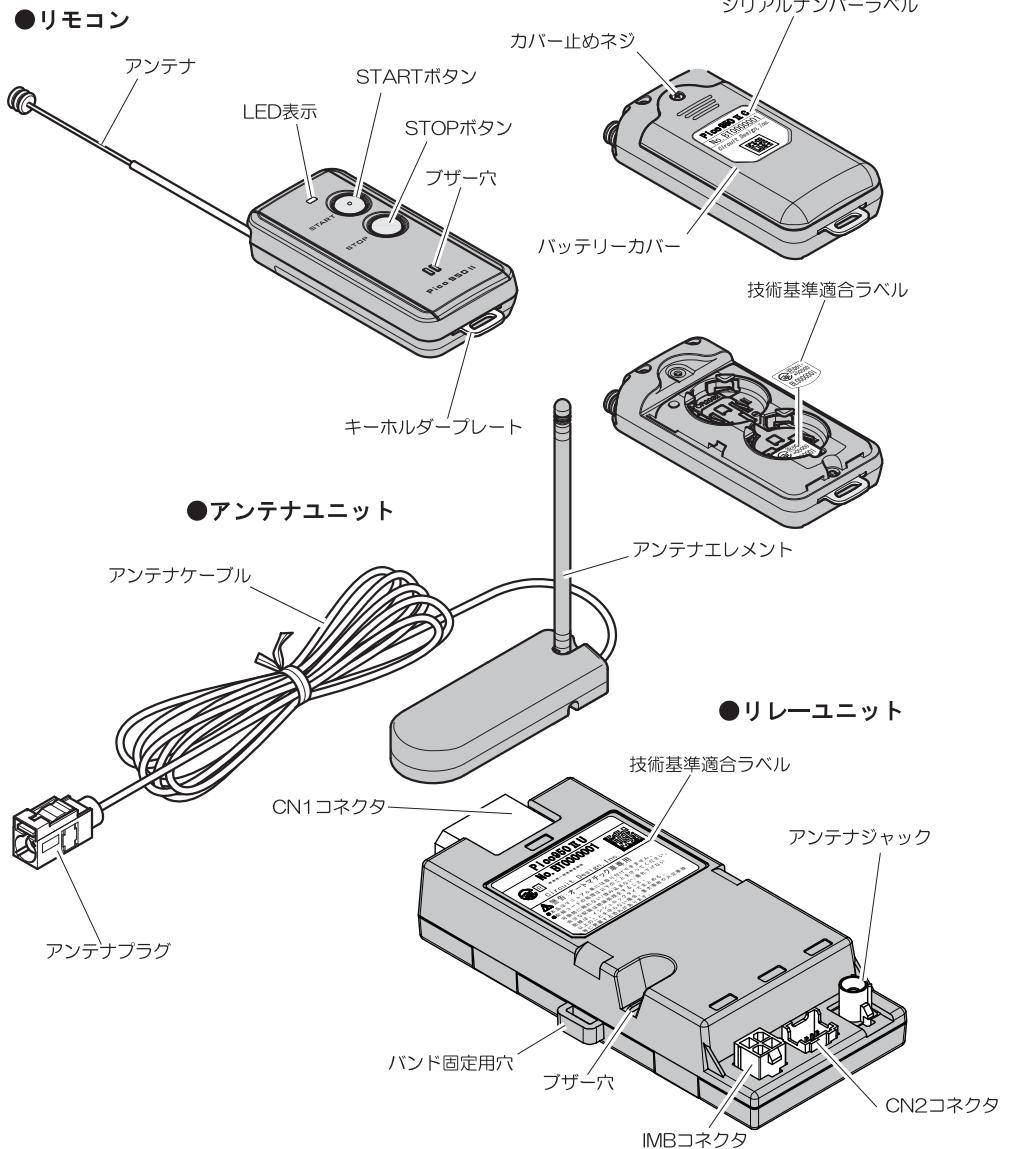
5

6

① このように構成されています

各部のなまえ

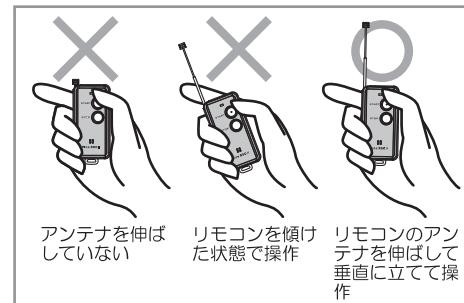
1



リモコンの正しい使い方

●安定したエンジン始動動作と通信距離を確保するために、リモコンを操作するときは次のことを守って使用してください。

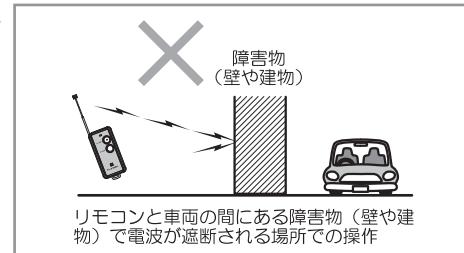
- リモコンのアンテナを完全に伸ばし、垂直に立てて操作をしてください。



- リモコンのアンテナを手で覆わないでください。
また、アンテナに手を触れた状態でリモコンの操作をしないでください。



- リモコンはなるべく車両が見通せる場所で操作をしてください。



2 動かしてみましょう

●リモコンの各ボタンは、0.5秒以上押し続けることによって、ブザーが鳴り送信します。ボタンを連続で操作する場合は、前の操作によるアンサーバック（ブザーとLED表示）後に、次の操作を行ってください。

●送信操作後に、リモコンはそれぞれの動作に対応したアンサーバックをブザーとLED表示で行います。
（※1）

●リモコンがアンサーバックをせず、LED表示が青色で点灯／点滅する場合は、電波環境が悪く通信が正常にできていません。もう一度操作を行ってください。（※2）

●アンサーバックが開始されるまでは、電波が送受信されているので、アンテナは伸ばしたままにしておいてください。また、アンテナは十分に伸ばして、高い場所で操作した方が電波到達距離が長くなります。

アンサーバック時



緑色または赤色で
点灯／点滅

通信エラー時



青色で
点灯／点滅

アンサーバックが
開始されるまでは、
アンテナを伸ばし
たままにする。

アンサーバックを
確認してから、ア
ンテナを収納する。
アンテナを伸ばし
たままにする。



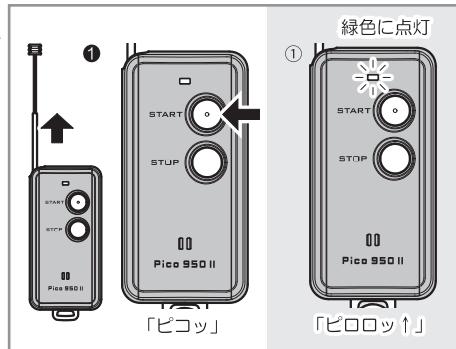
※1…明るい場所での使用時は、LED表示（緑色、赤色、青色）が見えにくい場合がありますのでご了承ください。

※2…エラーの詳細は、「リモコンのエラー表示について」（14ページ）を参照してください。

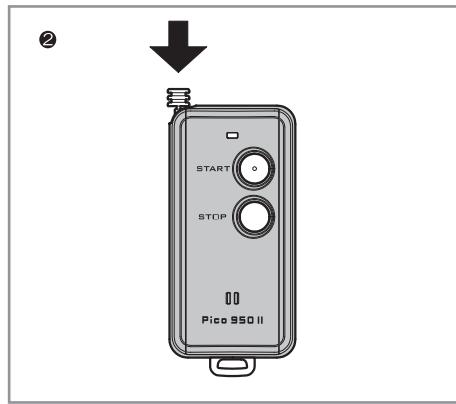
エンジンを始動する

①リモコンのアンテナを伸ばし、「START」ボタンをブザーが「ピコッ」と鳴るまで押します。アンテナは伸ばしたままでお待ちください。

②アンテナユニット（車両側）からの信号を受信すると、リモコンはエンジン始動動作の開始を、ブザー音（ピロロッ↑）とLED表示（緑色に点灯）でアンサーバックします。



②アンサーバックを確認してから、アンテナを収納します。



注意

●アンテナを伸ばすときまたは収納するときは、アンテナトップ（アンテナの先端の飾り部分）を持って、上下方向にまっすぐに動かしてください。無理な力で引っ張ったり左右に強く曲げると、アンテナが曲がったり破損する場合があります。

エンジン始動の確認をする

- リモコンの「START」操作で、エンジン始動（エンジンがかかっているか）、及びアイドリング残時間を確認することができます。
- エンジン始動の確認をする場合は、リモコンでエンジン始動操作後約1分以上経過してから行ってください。

①「START」ボタンを「ピコッ」と鳴るまで押します。

①アンテナユニット（車両側）からの信号を受信すると、リモコンはエンジン始動状態（下記のⒶまたはⒷ）を、それぞれブザー音とLED表示でアンサーバックします。

Ⓐエンジンがかかっているとき（エンジンスターによるアイドリング状態のとき）

●ブザー音…ビロロッ↑

●LED表示…緑色に点灯

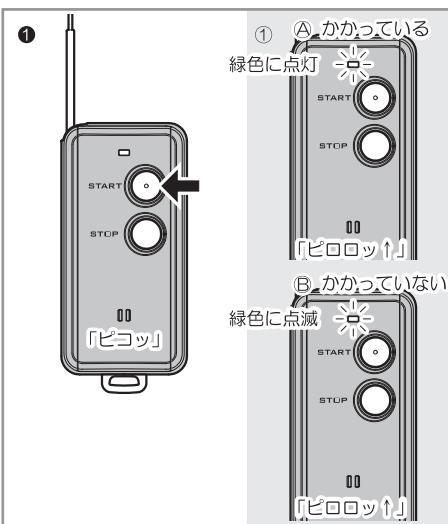
●続けてアイドリング残時間（あと何分間エンジンがかかっているか）を、ブザー音でアンサーバックします。

アイドリング残時間	ブザー音
15分～30分	ピッピッピッ
5分～15分	ピッピッ
5分未満	ピッ

Ⓑエンジンがまだかかっていないとき（エンジンをかけている最中のとき）

●ブザー音…ビロロッ↑

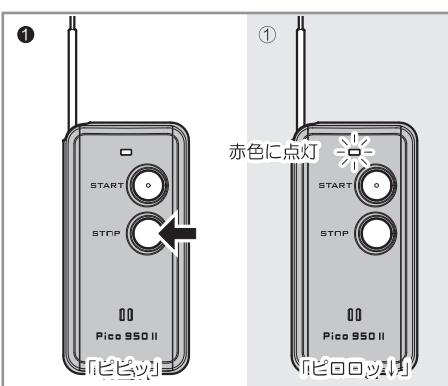
●LED表示…緑色に点滅



エンジンを止める

①「STOP」ボタンを「ピピッ」と鳴るまで押します。

①アンテナユニット（車両側）からの信号を受信すると、リモコンはエンジンが止まつたことを、ブザー音（ビロロッ↓）とLED表示（赤色に点灯）でアンサーバックします。



エンジン始動／停止の動作条件について

初期設定

- 取り付け直後、及びリレーユニットの電源が切られた場合（バッテリーを外した等）は、「初期設定」（17ページ）をしないと、エンジンスターターでエンジン始動はできません。

エンジン始動の条件（安全機構）

- 次の条件が満たされて、はじめてエンジンは始動します。

1. 運転席ドア、または全てのドアが閉じている。（ドア検出配線が接続されている車両）
2. ポンネットが閉じている。（ポンネットセンサー〈別売のオプション部品〉が、取り付けされている車両）
3. シフトレバーが「P」レンジに入っている。またはフットブレーキが踏まれていない。

STOP操作以外のエンジンの停止

- アイドリングタイマーにより、20分（アイドリング時間を変更した場合は、10分または30分）経過すると、エンジンは自動的に停止します。

- 安全機構が作動すると、エンジンは自動的に停止します。

1. ドアを開ける。
(ドア検出配線が接続されている車両は、ドアタイマーが20秒間作動後にエンジンが止まります。)
2. ポンネットを開ける。
(ポンネットセンサー〈別売のオプション部品〉が、取り付けされている車両)
3. シフトレバーを「P」レンジ以外に入れる。またはフットブレーキを踏む。

エンストリトライ（再始動）

- 1回目の始動動作でエンジンがかからなかったり、始動して30秒以内にエンジンが止まってしまった場合は、自動的に最大2回まで再始動を行います。

リモコンのエラー表示について

●次のような場合、送信操作後にLED表示が点灯／点滅して、エラーになります。

- ① リモコンで送信してもアンテナユニット（車両側）まで電波が届かないとき、またはアンテナユニットから送り返された信号をリモコンが受信できずアンサーバックできないとき。
 - ブー音が出て、LED表示が青色で点滅します。
 - 電波到達エリア外です。場所を変えて、もう一度操作をしてください。
 - リモコンでエラーになっても、アンテナユニット（車両側）が電波を受信できている場合は、車両側は作動（エンジンの始動等）します。

- ② リモコンで「START」操作をしても、安全機構が作動してエンジン始動できないとき。

- ブー音が出て、LED表示が赤色で点滅します。
- 安全機構（エンジン始動の条件）が満たされたように、車両側を点検してください。
- 初期設定（17ページ）をしていない場合も同じエラーになります。

- ③ リモコンで送信操作をしても、電波を送信できないとき。

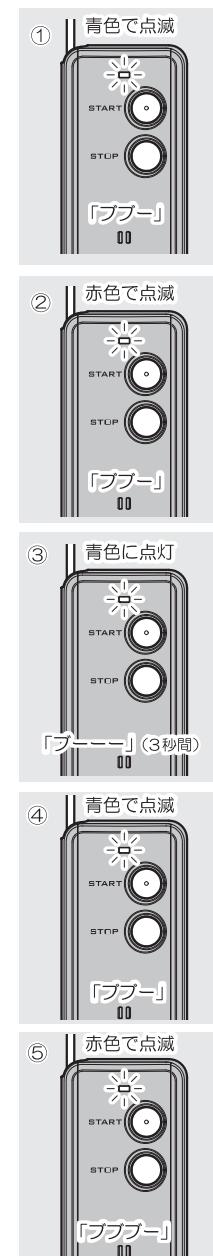
- ブー音（3秒間）が出て、LED表示が青色に点灯します。
- 電波法の規定により、リモコンを使用するエリア周辺で、リモコンで使用する電波の周波数帯に近い電波が発信されている場合、リモコンとアンテナユニット間の送受信が制限され、電波を出すことができなくなります。しばらく時間をおいて、もう一度操作をしてください。
- 特定の場所で何度も送信操作をしても同じエラーが出てしまう場合は、同一周波数帯の電波が周囲で常に発信されており電波が出せない状況になっています。時間をおいても状況が変わらない場合は、通信周波数の設定変更を行い対応できる場合があります。販売店または取付店にお問い合わせください。

- ④ リモコンで送信しても、アンテナユニット（車両側）がアンサーバックできないとき。

- ブー音が出て、LED表示が青色で点滅します。
- 電波法の規定により、アンテナユニット（車両側）のエリア周辺で、アンテナユニットで使用する電波の周波数帯に近い電波が発信されている場合、リモコンとアンテナユニット間の送受信が制限され、電波を出すことができなくなります。しばらく時間をおいて、もう一度操作をしてください。
- リモコンでエラーになっても、アンテナユニット（車両側）が電波を受信できている場合は、車両側は作動（エンジンの始動等）します。

- ⑤ キースイッチ操作で、車両のIG電源が「ON」になっているとき。

- ブブー音が出て、LED表示が赤色で点滅します。
- 車両のエンジンキーを「OFF」にして抜き、もう一度操作をしてください。



③ 便利な機能

インフォメーション（電波到達エリアの確認）

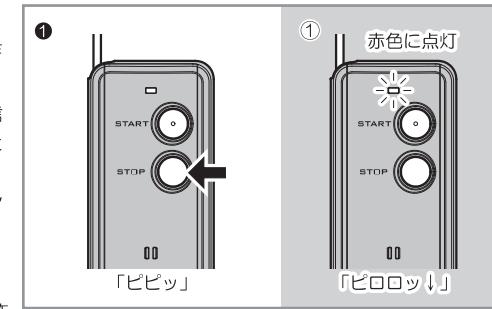
●車両のエンジンが停止しているとき（駐車中）に、リモコンで「STOP」操作を行うと、電波到達エリア（車両まで電波が届くかどうか）の確認をすることができます。

インフォメーション機能の使い方

① リモコンのアンテナを伸ばし、「STOP」操作を行います。

② アンテナユニット（車両側）からの信号を受信すると、リモコンは電波到達エリアであること（エンジン停止中であること）を、ブザー音（ピロッ↓）とLED表示（赤色に点灯）でアンサーバックします。

■アンサーバックが無くLED表示が青色で点滅する場合は、電波到達エリア外のため、リモコンで操作をしても車両側は基本的に作動しません。



ドアタイマー

●エンジンスターターによるアイドリング中に、ドアを開けてから20秒間アイドリングを継続する機能です。20秒間のアイドリング中に、キーシリンダーにエンジンキーを挿して「ON」にすれば、エンジンを止めることなくそのまま走行できます。

●設定により、ドアタイマー機能を「使用する」、「使用しない」を選択できます。（20ページ）：出荷時は「使用する」

■ドアタイマー作動中は、リレーユニットのブザーから作動音（ビッピッ…）がお出します。

■ドア検出配線を接続していないと、ドアを開けてもアイドリングは最大20分間（アイドリング時間変更した場合は、10分間または30分間）継続します。安全上問題がありますので、ドア検出配線を接続していただくよう取り付け店に依頼してください。

■ドアタイマー作動中、キーシリンダーにエンジンキーを挿して「ON」にする前に、リモコンで「STOP」操作をしたとき、または安全機構が働いた（ボンネットを開けた、シフトレバーを「P」レンジ以外に入れた、またはフットブレーキが踏まれた）とき、エンジンは停止します。

●電子キー付きの車両で、エンジンスターターによるアイドリング中に、キーシリンダーのノブスイッチが回らず「ON」にできない場合、ドアタイマー機能は使用できません。

●プッシュスタートシステム付きの車両は、ドアタイマー機能は使用できません。

アフターイドリング

- 走行後のアフターイドリングを行う機能です。
- 走行した時間により、アフターイドリングの時間は自動的にセットされます。（走行時間15分未満：アフターイドリングの時間30秒間／30分未満：60秒間／45分未満：90秒間／45分以上：120秒間）
- 設定により、アフターイドリング機能を「使用する」、「使用しない」を選択できます。（21ページ）
：出荷時は「使用しない」
 - アフターイドリング作動中は、リレーユニットのブザーから作動音（ピッピッ…）が出ます。
 - アフターイドリング作動中でも、リモコンで「STOP」操作をしたとき、または安全機構が動いた（シフトレバーを「P」レンジ以外に入れた、またはフットブレーキが踏まれた）とき、エンジンは停止します。
 - 日産車の一部の車種で、アフターイドリング作動中にキーを「OFF」にできず、キーシリンダーから抜けない車があります。この車種は、アフターイドリング機能は使用できません。
- プッシュスタートシステム付きの車両は、アフターイドリング機能は使用できません。

オートライトキャンセル

- 車両のオートライト機能（ライトスイッチが「AUTO」のポジション）を使用して、エンジンスターターでアイドリング中にエンジンが停止した場合、自動的にヘッドライトを消灯させる機能です。
(トヨタ車、ダイハツ車、日産車の一部のオートライト機能付き車)
 - オートライト配線を接続していないと、この機能は利用できません。配線が行われていない場合は、オートライトキャンセル機能は作動しないため、エンジンが停止しても夜間等ではヘッドライトが消灯せずに、バッテリー上がりを起こす恐れがあります。配線の接続は、取り付け店に依頼してください。
 - 夜間等、エンジンスターターによるアイドリング時に、無人状態でのヘッドライト点灯を防ぐ意味でも、駐車時には車両のライトスイッチを「OFF」にしておくことをお勧めします。
- 取り付ける車種により、この機能が使用できない場合があります。販売店または取り付け店にご確認ください。

スリープタイマー

- 30日以上、リモコンの「START」操作をせずにエンジンスターターを使用しなかったり、車両のキースイッチを「ON」にすることが無かった場合、車両バッテリーの負担を軽減するために、リレーユニットはスリープ（節電）モードに入れます。
- スリープモード中は受信動作を停止するため、リモコンで送信操作をしても車両側は作動しません。
- スリープモードから通常使用状態に復帰させるときは、車両のキースイッチ操作で3秒以上IG電源を「ON」してください。

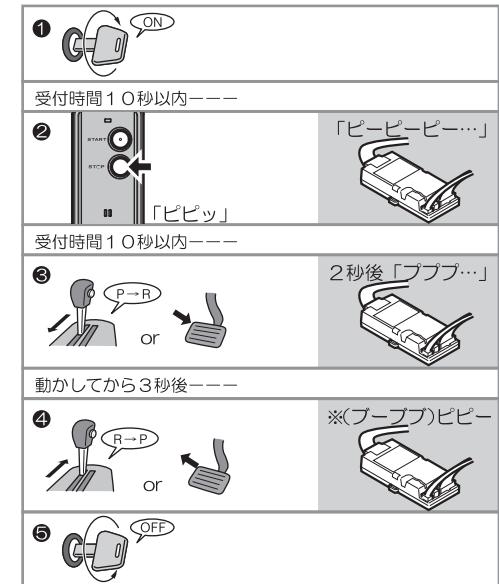
4 機能の設定

- 各機能は、リモコンを使って設定を行います。
- 機能の設定は、それぞれの設定手順に従って、必要に応じて行ってください。
- 各機能の設定完了後は、機能が設定したとおりに作動することを必ず確認してください。
- 設定手順の間違いなどで機能が正しく作動しなかった場合は、設定のリセット（39ページ）を行い、全ての設定を工場出荷時の状態に戻してから、もう一度各機能の設定を行ってください。
- 設定手順のブザーは、リレーユニットから出るブザー音です。

1 初期設定

- 取り付け直後、およびリレーユニットの電源が切られた場合（車両のバッテリーを外したとき等）は、この設定をしないと、エンジンスターターでエンジン始動はできません。

- 1 キースイッチを「ON」にする
——受付時間10秒以内——
- 2 「STOP」ボタンを押す
→送信音：「ピピッ」
→ブザー：「ピーピーピー…」
——受付時間10秒以内——
- 3 シフトレバー：「P→R」または
フットブレーキを踏む
→ブザー：2秒後に「ブブブ…」
——動作から3秒後——
- 4 シフトレバー：「R→P」または
フットブレーキを放す
→ブザー：「※(ブーブ)ピピー」
——設定完了——
- 5 キースイッチを「OFF」にする



※リレーユニットブザー音の（ブーブ）は、Pポジションの配線をした場合のみ鳴ります。

2 アイドリング時間の設定 (出荷時：20分)

●エンジンスターターのアイドリングタイマー（暖機）時間を「10分」、「20分」、「30分」のいずれかに設定できます。

「10分」の手順

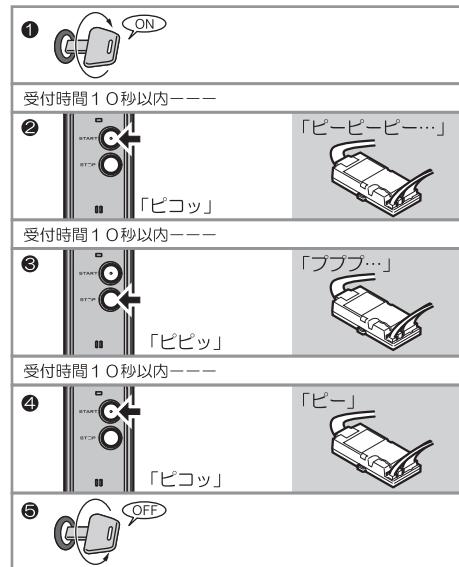
1 キースイッチを「ON」にする
----受付時間10秒以内----

2 「START」ボタンを押す
→送信音：「ピコッ」
→ブザー：「ビーピーピー…」
----受付時間10秒以内----

3 「STOP」ボタンを押す
→送信音：「ビピッ」
→ブザー：「ブブブ…」
----受付時間10秒以内----

4 「START」ボタンを押す
→送信音：「ピコッ」
→ブザー：「ピー」
----「10分」に設定完了----

5 キースイッチを「OFF」にする



「30分」の手順

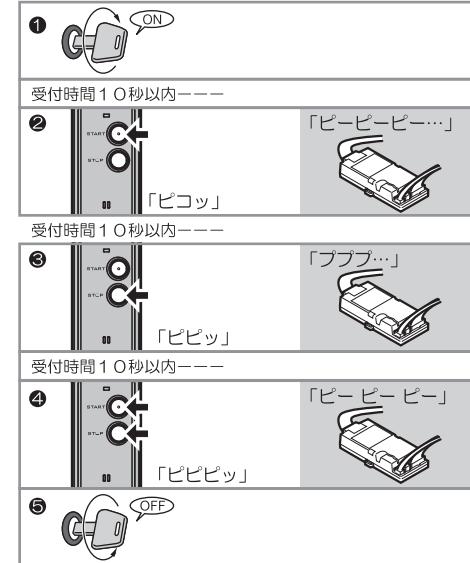
1 キースイッチを「ON」にする
----受付時間10秒以内----

2 「START」ボタンを押す
→送信音：「ピコッ」
→ブザー：「ビーピーピー…」
----受付時間10秒以内----

3 「STOP」ボタンを押す
→送信音：「ビピッ」
→ブザー：「ブブブ…」
----受付時間10秒以内----

4 「START」「STOP」ボタンを同時に押す
→送信音：「ビピピッ」
→ブザー：「ピー ピー ピー」
----「30分」に設定完了----

5 キースイッチを「OFF」にする



「20分」の手順

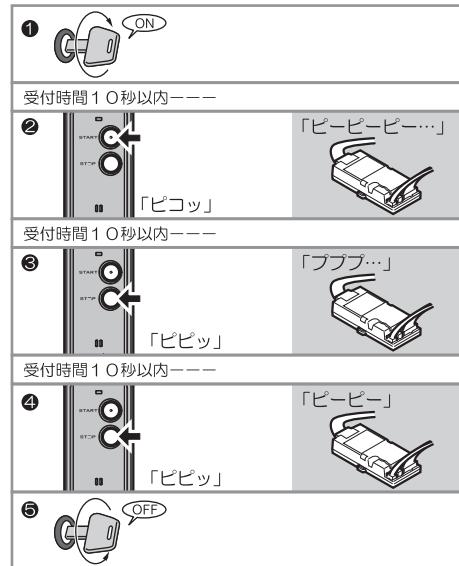
1 キースイッチを「ON」にする
----受付時間10秒以内----

2 「START」ボタンを押す
→送信音：「ピコッ」
→ブザー：「ビーピーピー…」
----受付時間10秒以内----

3 「STOP」ボタンを押す
→送信音：「ビピッ」
→ブザー：「ブブブ…」
----受付時間10秒以内----

4 「STOP」ボタンを押す
→送信音：「ビピッ」
→ブザー：「ピー ピー」
----「20分」に設定完了----

5 キースイッチを「OFF」にする

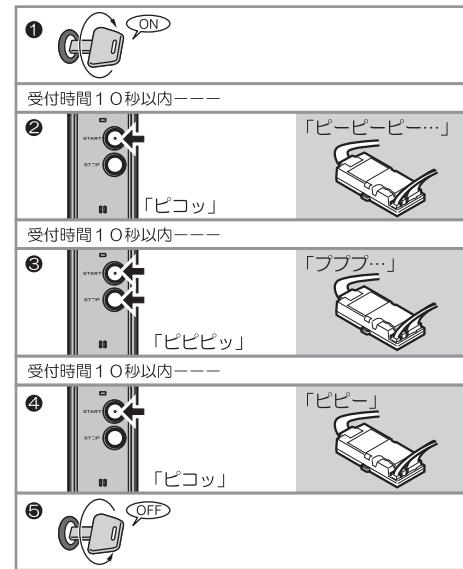


③ ドアタイマーの設定（出荷時：使用する）

●ドアタイマー機能を「使用する」、「使用しない」を設定できます。

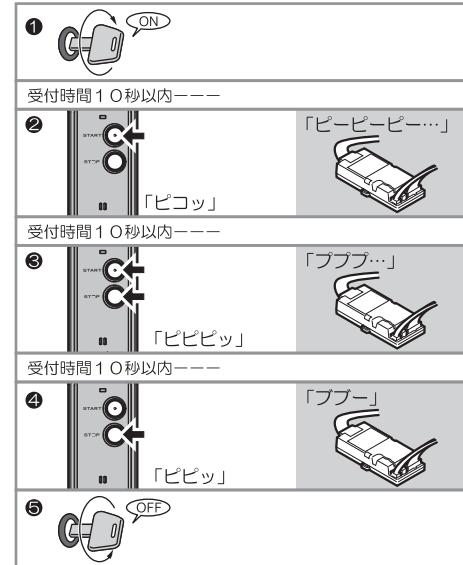
「使用する」の手順

- 1 キースイッチを「ON」にする
——受付時間10秒以内——
- 2 「START」ボタンを押す
→送信音：「ピコッ」
→ブザー：「ビーピーピー…」
——受付時間10秒以内——
- 3 「START」「STOP」ボタンを同時に押す
→送信音：「ビビッ」
→ブザー：「ブブ…」
——受付時間10秒以内——
- 4 「START」ボタンを押す
→送信音：「ピコッ」
→ブザー：「ビビー」
——「使用する」に設定完了——
- 5 キースイッチを「OFF」にする



「使用しない」の手順

- 1 キースイッチを「ON」にする
——受付時間10秒以内——
- 2 「START」ボタンを押す
→送信音：「ピコッ」
→ブザー：「ビーピーピー…」
——受付時間10秒以内——
- 3 「START」「STOP」ボタンを同時に押す
→送信音：「ビビッ」
→ブザー：「ブブ…」
——受付時間10秒以内——
- 4 「STOP」ボタンを押す
→送信音：「ピピッ」
→ブザー：「ブブー」
——「使用しない」に設定完了——
- 5 キースイッチを「OFF」にする

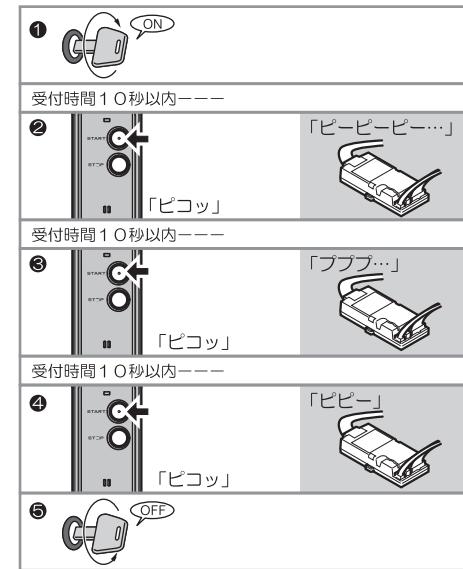


④ アフターイドリングの設定（出荷時：使用しない）

●アフターイドリング機能を「使用する」、「使用しない」を設定できます。

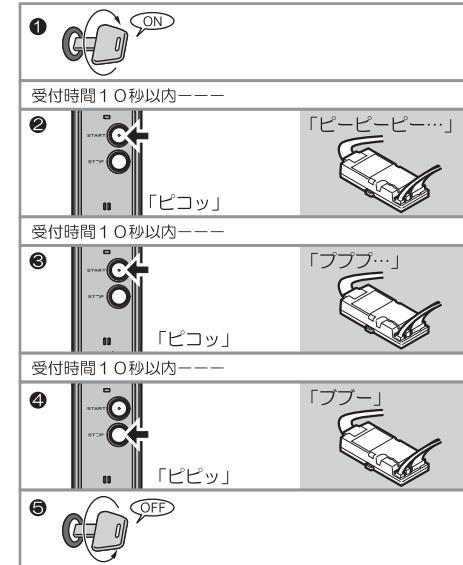
「使用する」の手順

- 1 キースイッチを「ON」にする
——受付時間10秒以内——
- 2 「START」ボタンを押す
→送信音：「ピコッ」
→ブザー：「ビーピーピー…」
——受付時間10秒以内——
- 3 「START」ボタンを押す
→送信音：「ピコッ」
→ブザー：「ブブ…」
——受付時間10秒以内——
- 4 「START」ボタンを押す
→送信音：「ピコッ」
→ブザー：「ビビー」
——「使用する」に設定完了——
- 5 キースイッチを「OFF」にする



「使用しない」の手順

- 1 キースイッチを「ON」にする
——受付時間10秒以内——
- 2 「START」ボタンを押す
→送信音：「ピコッ」
→ブザー：「ビーピーピー…」
——受付時間10秒以内——
- 3 「START」ボタンを押す
→送信音：「ピコッ」
→ブザー：「ブブ…」
——受付時間10秒以内——
- 4 「STOP」ボタンを押す
→送信音：「ピピッ」
→ブザー：「ブブー」
——「使用しない」に設定完了——
- 5 キースイッチを「OFF」にする



5 クランキング時間の設定（出荷時：クランキング時間1秒固定）

- この設定については、車両に対する専門知識が必要なため、必ず取り付け店にご相談ください。
- エンジンのかかり具合に合わせて、クランキング時間（セルモーターを回す時間）を、0.6～2秒までの範囲で設定により変更することができます。

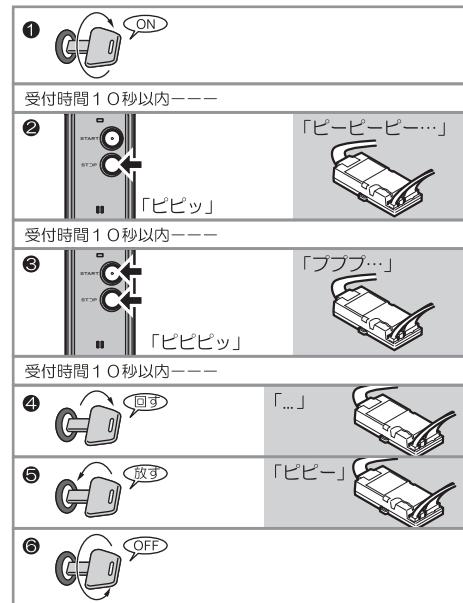
設定の手順

- 1 キースイッチを「ON」にする
---受付時間10秒以内---
- 2 「STOP」ボタンを押す
→送信音：「ピピッ」
→ブザー：「ビーピーピー…」
---受付時間10秒以内---
- 3 「START」「STOP」ボタンを同時に押す
→送信音：「ビビピッ」
→ブザー：「ブブ…」
---受付時間10秒以内---
- 4 キースイッチでセルモーターを回して
エンジン始動
→ブザー：音が止まる
- 5 キースイッチを放す
→ブザー：「ビピー」
---設定完了---
- 6 キースイッチを「OFF」にする



注意

- 取り付ける車種により、この機能が使用できない場合があります。販売店または取り付け店にご確認ください。
- クランキング時間の設定後は、常にここで設定した時間でセルモーターが回ります。エンジン始動時間が環境等で大きく変化する車種の場合、クランキング時間を長く設定するとセルモーターのオーバーラン（引きすぎ）が出る場合があるので注意してください。
- 設定したクランキング時間を出荷時設定（1秒固定）に戻したい場合は、「設定のリセット」を行ってください。（39ページ）

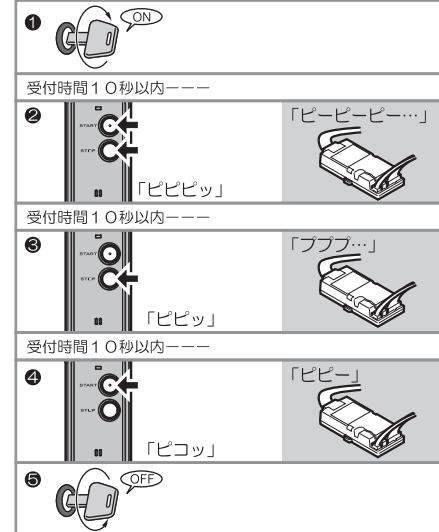


6 車種の設定（出荷時：ガソリン車）

- この設定については、車両に対する専門知識が必要なため、必ず取り付け店にご相談ください。
- 取り付ける車種により、必要に応じて「ガソリン車」、「ディーゼル車」を設定できます。
- 始動前のグロータイムが長く必要な場合、または始動後に車両のチャージランプ消灯までに時間がかかる車種は、「ディーゼル車」に設定してください。

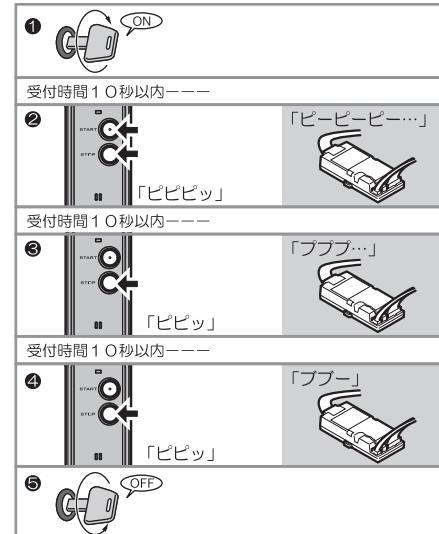
「ガソリン車」の手順

- 1 キースイッチを「ON」にする
---受付時間10秒以内---
- 2 「START」「STOP」ボタンを同時に押す
→送信音：「ピピピッ」
→ブザー：「ビーピーピー…」
---受付時間10秒以内---
- 3 「STOP」ボタンを押す
→送信音：「ピピッ」
→ブザー：「ブブ…」
---受付時間10秒以内---
- 4 「START」ボタンを押す
→送信音：「ピコッ」
→ブザー：「ビピー」
---「ガソリン車」に設定完了---
- 5 キースイッチを「OFF」にする



「ディーゼル車」の手順

- 1 キースイッチを「ON」にする
---受付時間10秒以内---
- 2 「START」「STOP」ボタンを同時に押す
→送信音：「ピピピッ」
→ブザー：「ビーピーピー…」
---受付時間10秒以内---
- 3 「STOP」ボタンを押す
→送信音：「ピピッ」
→ブザー：「ブブ…」
---受付時間10秒以内---
- 4 「STOP」ボタンを押す
→送信音：「ピピッ」
→ブザー：「ブブー」
---「ディーゼル車」に設定完了---
- 5 キースイッチを「OFF」にする



- 「ディーゼル車」に設定すると、始動前のグロータイムは7秒間（ガソリン車：5秒間）、始動後の始動判断待機時間は30秒間（ガソリン車：15秒間）になります。

⑤ こんなときは（Q & A）

リモコン操作関係

Q

リモコンの操作距離が短くなった。

A

- ① リモコンのアンテナを十分伸ばして操作していますか。
 - 操作してアンサーバックが表示されるまで、アンテナを伸ばしておいてください。
- ② 電池が消耗していませんか?
 - 新しい電池（CR2032×2個）と交換してください。（41ページ）
- ③ 周囲の電波環境が悪いのでは?
 - しばらく時間をおくか、場所を変えて、もう一度操作をしてください。

5

エンジン始動関係

Q

リモコンの「START」操作をしても、エンジンがかからない。

A

- ① 車両のバッテリー端子を外したことがありますか?
 - 「START」操作後、リレーユニットのブザーが「ブーブブ」と鳴ったら、「初期設定」を行ってください。（17ページ）
- ② エンジン始動の条件（安全機構）は満たされていますか?
 - 始動条件（安全機構）が満たされているか、確認してください。（13ページ）
- ③ 車両のキースイッチが「ON」になっていませんか?
 - キースイッチを「OFF」にして、キーを抜いてください。

5

- ④ エンジンの始動性が悪くなっていますか？

●エンジンキーで始動してもエンジンのかかりが悪い場合には、車両の整備をした上で取り付け店にご相談ください。

- ⑤ 車両のバッテリーが弱っていますか？

●バッテリーが弱っていたら、充電、または交換をしてください。

- ⑥ 「リモコンの操作距離が短くなった」（24ページ）の項目を確認してください。

Q

リモコンの「STOP」操作をしても、エンジンが止まらない。

A

- ① 車両のキースイッチでエンジンを始動していませんか？

●エンジンキーを「OFF」して、エンジンを止めてください。

- ② 「リモコンの操作距離が短くなった」（24ページ）の項目を確認してください。

Q

エンジンは始動するが、すぐに停止したり、再始動を2回繰り返す。

A

- ① 車両のバッテリーが弱っていますか？

●バッテリーが弱っていたら、充電、または交換をしてください。

- ② エンジン始動検出ができていません。

●車両側への配線（L端子線の接続）が必要です。取り付け店に依頼してください。

各機能関係

Q

各機能が使用できない。

A

- ① 機能の設定はされていますか？

●使用する機能の設定を行ってください。（17～23ページ）

- ② 必要な配線はされていますか？

●使用する機能により、車両側への配線が必要です。取り付け店に依頼してください。

その他（全般）

Q

リモコンを操作してもエラーになり、車両側が作動しない。

A

- 「リモコンのエラー表示について」（14ページ）を参照して、エラーの内容を確認してください。

Q

車両のバッテリーを外した。

A

- 「初期設定」を行ってください。（17ページ）

5

Q

リモコンを紛失（破損）してしまった。リモコンを新しくしたい。

A

- スペアリモコンを有償で注文できます。保証書、またはリレーユニットのシリアルナンバーを確認して、取り付け店または販売店に注文してください。
- ただし、スペアリモコンを使用する場合には、今までの古いリモコンは使えなくなります。（1台の車両に対して、使用できるのは1台のリモコンのみです）

2 エンジンスターターの取り付け方

1.梱包内容

梱包内容	29
梱包内容の他に必要なもの	29

2.取り付け前の準備

揃えておきたい主な工具	30
エレクトロタップでの分岐接続方法	30
接続の概念図（システム図）	31
接続先の信号一覧	30

3.取り付け作業

取り付けの前に	32
①アンテナユニットの取り付け	32
②専用ハーネスの取り付け	33
③CN2配線の接続	34
④ハーネス・アンテナケーブルの接続	36
⑤初期設定	36
⑥動作チェック	37
⑦リレーユニットの取り付け	38
⑧取り付け後の配線処理	38
⑨機能の設定	39
⑩設定のリセット	39
⑪リレーユニットのブザーアンサーバック表	40

1

4.電池交換について

電池交換のしかた	41
----------	----

5.主な仕様

6.スペアリモコンについて

7.アフターサービス

2

3

4

5

6

7

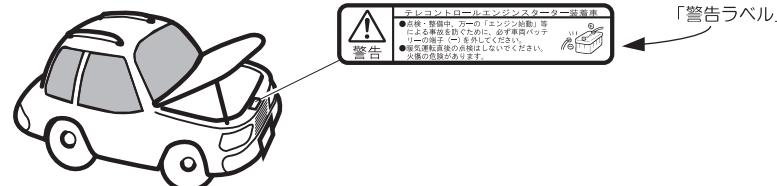
取り付け上のご注意

本製品を安全に、最良の状態でご使用いただくために、取り付け前に必ずお読みください。



警告

- 本製品は後付けの性格上、車両内の重要な配線部分に接続するようになっています。誤配線、配線省略、設定間違い、リレーユニットの固定不徹底、配線の後処理の不徹底等は重大な事故を起こす原因となりますので、取り付け説明に従って注意を良く守り、一つ一つ接続先を確認しながら作業を進めてください。
- 作業終了後は実際に操作して動作確認をしてください。
車両が安全な場所にあること、周囲に人がいないことを確かめ（特に車両の前後、ボンネット内で作業をしていると危険）、実際にリモコンを操作して動作チェックをしてください。また、正常に動作しない今までのご使用や、お客様への引き渡しはしないでください。
- 取り付け終了後は本冊子の保証書欄（44ページ）に販売店名、販売日、シリアルNo.を記入してから、本冊子をお客様にお渡しください。
- 付属の「警告ラベル」を、エンジンルーム内の良く見え高温にならない場所に、油やほこりを良く拭き取ってから貼ってください。本製品を取り付ける際に「警告ラベル」がない場合は、販売店または取扱店より入手して貼るようにしてください。



- 「警告ラベル」が無い状態で点検整備をした場合、事故を起こす危険があります。

取り付けにあたって知っておきたい注意事項



警告

- 取り付けは、概念的な説明で確実に取り付けができる、専門の知識を持った技術者が行うようにしてください。お客様ご自身で取り付けた場合は、保証の対象なりません。
- 本製品に関する一般的な注意事項は、「使用上のご注意」（2~6ページ）に記載されています。取り付け前に必ずお読みください。

----- イモビライザー装着車に取り付け時の注意事項 -----

- 本製品は、エンジンイモビライザー装着車（当社の車種別ハーネス適応表、またはホームページに記載されている適応車種のみ）に取り付けができます。
- 取り付けには別売りのイモビ対応ユニットが必要です。イモビ対応ユニットは取り付ける車種により品番が異なります。品番は車種別ハーネス適応表、またはホームページで確認するか、販売店にお問い合わせください。
- イモビ対応ユニットの取り付け方法等については、イモビ対応ユニットに付属の取付説明書、および車種別取付資料を参照してください。

① 梱包内容

梱包内容

品名	数量	品名	数量
リモコン	1	両面テープ（リレーユニット用）	1
リレーユニット	1	バンド（リレーユニット用）	1
アンテナユニット	1	束線バンド（黒色）	5
取扱・取付説明書（本書）	1	エレクトロタップ	4
キーリング（リモコン用）	1	警告ラベル	1
CN2ハーネス（10極）	1		

梱包内容の他に必要なもの

●以下の部品、及び車種別取付資料は、販売店にお問い合わせいただくかインターネットのホームページ（44ページ）で確認していただき、必要なものを準備してください。

1. 専用ハーネス（必ず用意する）

- 取り付ける車種により、品番が異なります。

2. 主なオプション部品（必要に応じて用意する）

イモビ対応ユニット

- エンジンイモビライザー装着車（当社で適応としている車種のみ）に取り付ける場合に必要です。
- 取り付ける車種により、品番が異なります。

ボンネットセンサーⅡ（EP171）

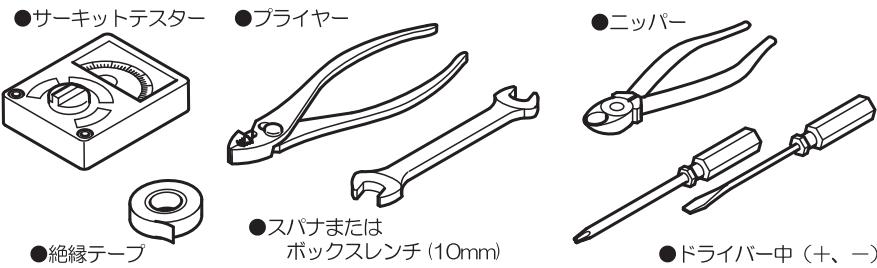
- エンジン始動条件の安全機構で、「ボンネット開」を検出する場合に必要です。
- 車両の点検整備時の安全を確保するために、取り付けをお勧めしています。

3. 車種別取付資料（必ず用意する）

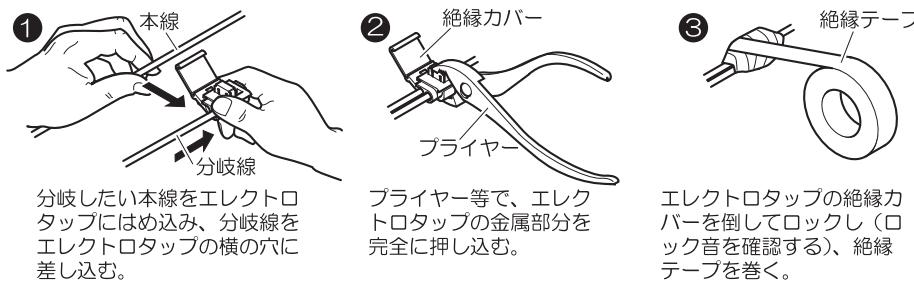
- 取り付ける車種ごとに、専用に作成された取り付け資料です。

2 取り付け前の準備

揃えておきたい主な工具



エレクトロタップでの分岐接続方法

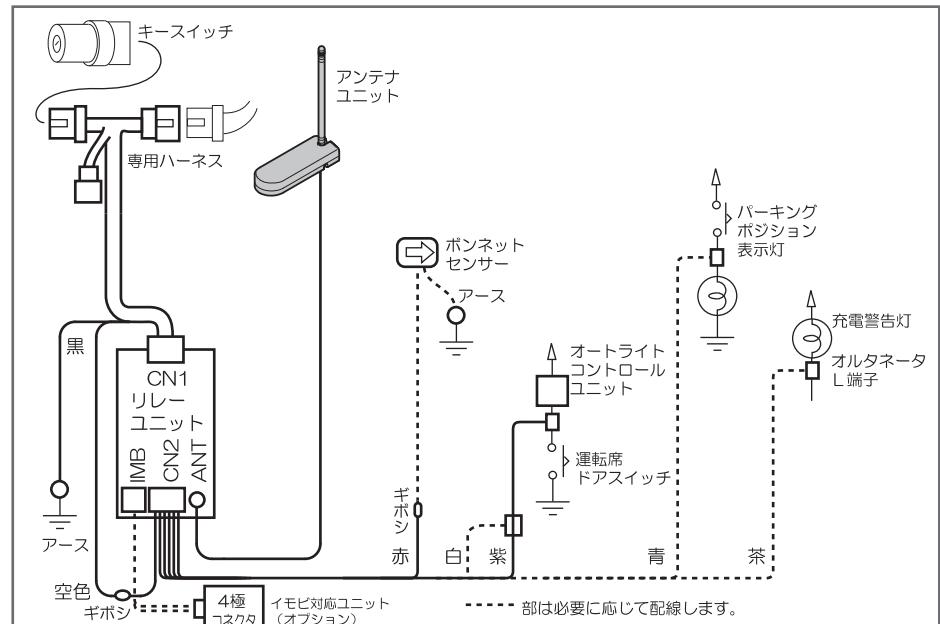


接続先の信号一覧

● サーキットテスターで信号の電圧を確認してください。

カプラ NO.	線色	接続先	条件	接 続 先 の 信 号	備 考
CN1		メインハーネス			
	黒	ボディーアース			
	空	CN2		(CN2ハーネスの「空色」のギボシに接続)	
CN2	茶	L端子	車両のキースイッチが「ON」	エンジンがかかっていない → 約1V エンジンがかかっている → 12V	ディーゼル車、ガソリン車の始動不具合車 → 配線する車種別取付資料で指示がある車種は配線する。
	赤	ポンネットセンサー(オプション)	CN2をリレーユニットから外した状態	ポンネット開 → アースと導通 ポンネット閉 → アースと導通	ポンネットセンサー(オプション)に付属の取付説明書を参照して、オプションに付属のギボシ付き赤色線をCN2の2番端子へ差し込み接続する。
	空	CN1		(専用ハーネスの「空色」のギボシに接続)	
	青	パーキングポジション	車両のキースイッチが「ON」	シフトレバーが「P」以外の位置 → 0V シフトレバーが「P」以外の位置 → 12V シフトレバーが「P」の位置 → 12V シフトレバーが「P」の位置 → 0V	初期設定のできない車種 → 配線する車種により信号の電圧が異なります。
	紫	ドア		運転席ドア 開 → 0V 運転席ドア 閉 → 12V	車種によりドア開の電圧は、数Vの場合があります。
	白	オートライト		運転席ドア 開 → 0V 運転席ドア 閉 → 12V	車種によりドア開の電圧は、数Vの場合があります。

接続の概念図(システム図)



③ 取り付け作業

- 車両のバッテリー端子の（-）を外してから、作業を行ってください。
- 取り付ける車両ごとに異なる、配線の接続先・取り付け上の注意事項等は、必ず「車種別取付資料」を参照してください。本説明書では、一般的な説明と補足説明にとどめます。

取り付けの前に

あらかじめリレーユニットの取り付け場所を決めてください。



- リレーユニットは車室内に設置し、取り付け場所は、高温（85°C以上）とならない、水の浸入しない、結露しにくい場所にしてください。
- 専用ハーネス、CN2ハーネス、アンテナケーブルは、リレーユニットの取り付け場所を中心取り回して接続してください。

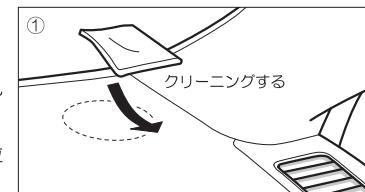
1 アンテナユニットの取り付け

- アンテナユニットは、運転席側ダッシュボードサイドの両面テープで確実に固定できる平らな面に取り付けてください。

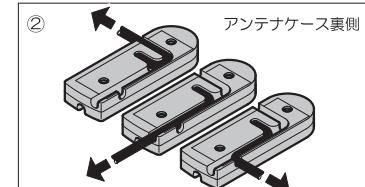


- アンテナユニットを取り付ける前に、取り付ける場所の油やほこりをきれいに拭き取って、容易に剥がれないように貼ってください。剥がれ落ちると運転に支障をきたす恐れがあります。
- アンテナユニットは視界の妨げにならない位置に設置してください。

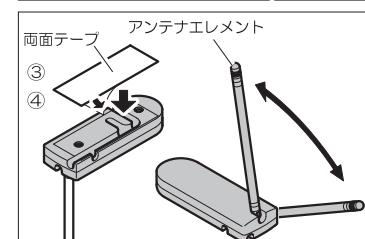
1 アンテナユニットを取り付ける場所を決め、取り付ける場所をクリーニングする（汚れや油をきれいに拭き取る）



2 アンテナケーブルの引き出し方向を決め、アンテナケース裏側の溝にしっかりと押し込み整形する



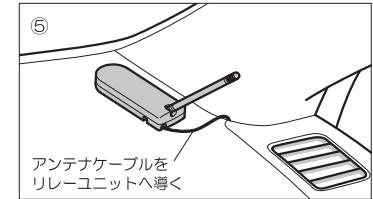
3 両面テープのセパレータを取り、ケース裏側の枠に合わせて貼り付ける



4 両面テープのセパレータを取り、車両側の取り付け場所へ貼り付けして、アンテナエレメントの角度を調整する（※1）

5 アンテナケーブルをリレーユニット取り付け場所へ導く

※1 両面テープを貼り付ける際は、周囲の温度が20°C以上の環境で作業をしてください。低温環境では、両面テープの接着が弱くなり、剥がれ落ちる場合があります。

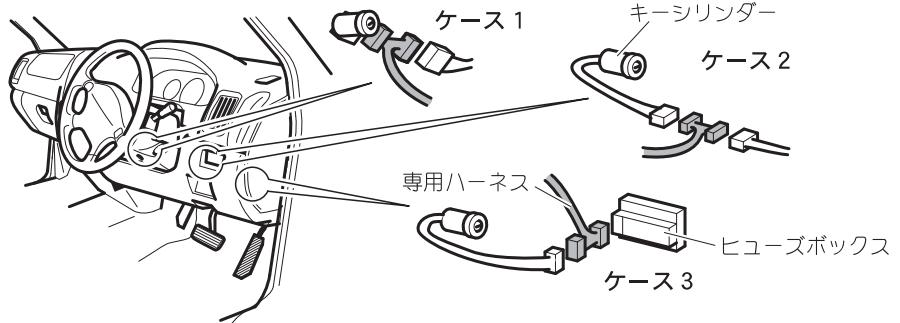


2 専用ハーネスの取り付け

- それぞれのカプラ、及び配線の接続先は、必ず取り付けする車両の車種別取付資料を参照して、指定されたところへ接続してください。

1 割り込みカプラの接続

- 割り込みカプラの取り付け場所は、車種により下記の3種類に大別されます。



ケース1 コラムカバーを外して、キーシリンダーから直接出ているコネクタに接続。

ケース2 アンダーカバー内の中継コネクタに接続。

ケース3 ヒューズボックス内にあるコネクタに接続。

2 アースの接続

車体に直接締めてある（塗装されていない車体アース）ボルト、ネジに共締めする。

3 CN2 配線の接続

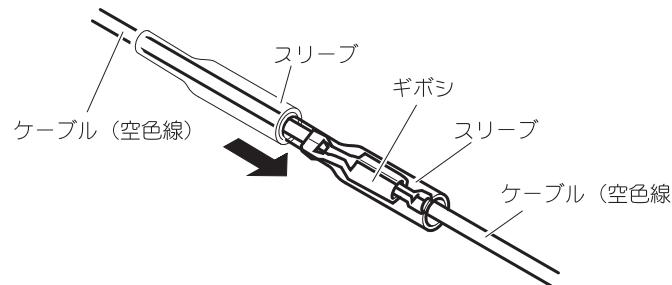
1 ギボシ（空色）の接続

必ず接続する。

- この配線は、エンジンスターターによるアイドリング中に、誤って車両のキースイッチを「START」に回してしまっても、セルモーターへの電源をカットして、セルモーターの破損を防止するためのものです。
- 専用ハーネスにギボシ付きの空色線が無い場合は、ケーブルに付属しているスリープをギボシにかぶせて絶縁処理をしてください。

①専用ハーネスとCN2の空色線のギボシを確実に接続する。

②接続後ケーブルに付属しているスリープを、ギボシにかぶせて絶縁処理をする。



2 ドア（紫色）の配線

必ず配線する。

- 車種別取付資料で指示している「運転席ドア」配線へ接続してください。



- 配線をしないとドアの開閉検出ができません。安全のために必ず配線してください。
また、配線しないとドアタイマー機能が利用できません。
- 配線しない場合でもエンジン始動はできます。

3 L端子（茶色）の配線

必要に応じて配線する。

- ディーゼル車は必ず配線してください。
 - ガソリン車でも始動不具合車（下記の状態になる場合）は配線してください。
- ①セルモーターを駆動しエンジンは始動するが、しばらくすると停止してしまう。
②不具合現象①を2回繰り返した後、リセットする。
③セルモーターを駆動し、エンジンが始動しないのに再始動を行わない。（エンジンがかからっていないのに、車両の電源がONしたままの状態になる）

車種別取付資料で「必ず配線」の指示がある車種は配線する。

- 配線をしないとエンジンの始動判断ができないため、エンジンは始動してもしばらくすると停止しまい、アイドリングを継続しません。

4 パーキングポジション（青色）の配線

必要に応じて配線する。

- 「初期設定」（36ページ）ができない車種は、配線をしてください。
- 配線が必要な車種は、車種別取付資料に接続先が記載されています。

5 オートライト（白色）の配線

オートライト機能付き車は車種により必要に応じて配線する。

- オートライトキャンセル機能を使用する場合は、配線してください。
- 配線が必要な車種は、車種別取付資料に接続先が記載されています。
- 取り付ける車種により、オートライトキャンセル機能が使用できない場合があります（車種別取付資料を参照）。この場合には、オートライトの配線をしないでください。
- 配線をしない場合でも、エンジン始動はできます。

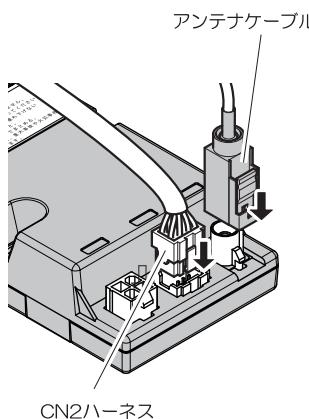
6 ボンネット（赤色）の配線

オプション部品のボンネットセンサーを取り付ける場合のみ配線する。

- ボンネットセンサーに付属のギボシ付き赤色線を、CN2ハーネスの指定箇所（2番端子）へ差し込み、接続してください。
- 取り付け、配線方法は、ボンネットセンサーに付属の取付説明書を参照してください。

4 ハーネス・アンテナケーブルの接続

- ①専用ハーネス、CN2ハーネスの接続
 - 専用ハーネスの7PコネクタをCN1へ、CN2ハーネスの10PコネクタをCN2へ、それぞれ接続してください。
 - CN1を接続してリレーユニットに電源が入ると、「ピロロロッ」とブザー音が出ます。
- ②アンテナケーブルの接続
 - アンテナケーブルのプラグをリレーユニットのジャックへ、ツメがロックするまで差し込み、接続してください。
- ③IMBコネクタの接続（別売のイモビ対応ユニットを取り付ける場合のみ）
 - イモビ対応ユニットハーネスの4Pコネクタを、IMBコネクタへ接続してください。



注意

- エンジンイモビライザー装着車（弊社にて適応としている車種のみ）に取り付ける場合は、イモビ対応ユニットに付属の取扱説明書を参照してください。

5 初期設定

- 接続が全て完了してから、この設定を行ってください。
- この設定をしないとエンジンスターターによるエンジン始動ができません。
- 車両のバッテリーを外したとき、またはリレーユニットのCN1コネクタを外したときは、この設定が必要です。

操作	送信音	リレーユニットのアンサーバック音	備考
キースイッチ→「ON」			受付時間10秒以内
「STOP」	ピピッ	ピーピーピー…	受付時間10秒以内
シフトレバー「P」→「R」 または、フットブレーキを踏む※2		2秒後ブブブ…と音が変化	動かしてから3秒後
シフトレバー「R」→「P」 または、フットブレーキを放す※2		(※1ブーブ) ピピー	初期設定完了
キースイッチ→「OFF」			

※1 パーキングポジションの配線をした場合のみ「ブーブ」と鳴ります。

※2 取り付ける車種により、フットブレーキを使って設定を行う場合があります。

6 動作チェック

- 「初期設定」(36ページ)をしてから、動作チェックを行ってください。
- 操作に関する詳細と注意事項は、「動かしてみましょう」(10~14ページ)を参照してください。

1. エンジンの始動

操作	送信音	エンジン	リモコンのアンサーバック
「START」	ピコッ	始動する	する

2. エンジンの状態の確認（始動してから30秒後）

操作	送信音	エンジン	リモコンのアンサーバック
「START」	ピコッ	アイドリング中	する

3. エンジンの停止

操作	送信音	エンジン	リモコンのアンサーバック
「STOP」	ピピッ	停止する	する

4. ドアタイマーの確認

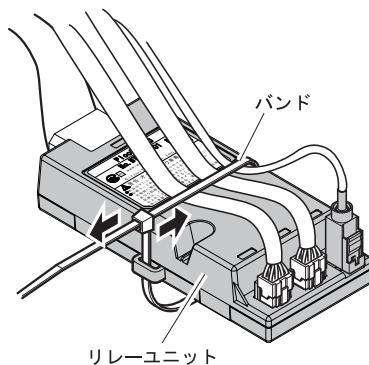
- 1 リモコンで「エンジンの始動」を行いエンジンをかける
- 2 エンジンがかかるてから30秒後にドアを開け、20秒間アイドリングを継続後
エンジンが止まること
(ドアタイマー作動中はリレーユニットのブザーから作動音が出ること)

正常に作動しないときは・・・

- リモコンを操作すると、リレーユニットがブザーによりアンサーバックをします。動作チェックで正常に作動しないときは、リレーユニットのブザー・アンサーバック表(40ページ)を参照して、不具合箇所の特定と対処をしてください。
- 不具合箇所が重複している場合は、最初の不具合箇所をアンサーバックします。それが解決すると次の不具合箇所のアンサーバックをします。

7 リレーユニットの取り付け

- ①動作チェックをして、確実に動作することを確かめてから取り付けを行う。
- ②リレーユニットの取り付けは、付属のバンド、両面テープ等でゆるみ、がたつきのないように、車両のハーネス等にしっかりと固定する。
- リレーユニットは車室内（高温：85°C以上とならない、水の浸入しない、結露しにくい場所）で、なるべくコネクタは下向きになるように取り付けてください（電線を伝わって水が浸入するのと、ほこり等による接触不良を防止するため）。



8 取り付け後の配線処理

- 配線コードは車両の可動部（チルトステアリング、アクセル、ブレーキ、パーキングブレーキ、アクセルリンク等）またはシャープエッジに触れたり、挟み込まれたり、垂れ下がらないように付属の束線バンド等で結束してください。また、絶縁処理の必要な配線は絶縁テープ等で処理をしてください。



- 警告
- リレーユニットの取り付けが不完全な場合、落下等で運転に支障をきたし、重大な事故につながるおそれがあります。
 - リレーユニットは足下の水の跳ね返りや、外部からの水の浸入にふれないように設置してください。内部に水が浸入すると、動作不良等によって重大な事故につながるおそれがあります。（リレーユニットは防水対応ではありません。）
 - 配線コードが挟み込まれたりすると、場合によっては断線、ショートが起り、リレーユニットまたは車両のシステムを破損したり、アクセル、ブレーキが正常に操作できなくなったり、車両火災を起こす危険があります。

9 機能の設定

- 各機能は、リモコンを使って設定を行います。
- 機能の設定はお客様に引き渡す前に、あらかじめお客様に確認の上で必要に応じて行ってください。
- 各機能の詳細、および設定手順は、「便利な機能」、および「機能の設定」（15～23ページ）を参照してください。
- 設定により変更できる機能と、工場出荷時の各機能の設定は、以下の一覧表を参照してください。

機能	出荷時設定
アイドリング時間の設定	20分
ドアタイマーの設定	使用する
アフターアイドリングの設定	使用しない
クラン킹時間の設定	1秒固定
車種の設定	ガソリン車

10 設定のリセット

- 各機能の設定をリセットして、全て工場出荷時の設定に戻したい場合は、以下の手順で設定のリセットをしてください。

■「設定のリセット」手順

操作	送信音	リレーユニットのアンサーバック	備考
キースイッチ→「ON」			受付時間10秒以内
「START」	ピコッ	ピーピーピー…	受付時間10秒以内
「START」&「STOP」	ピピピッ	ブブブ…	受付時間10秒以内
「START」&「STOP」	ピピピッ	ピロロロッ ピピー	設定のリセット完了
キースイッチ→「OFF」			

11 リレーユニットのブザー・アンサー・バック表

番号	アンサーバック音	アンサーバック音が鳴る場合
1	ピロロロッ↑	リレーユニットに電源が入ったとき
2	ピッ	スタート・ストップ受け付け時（受信時）
3	ピーピーピー…	機能設定モード中 1
4	プブ…	機能設定モード中 2
5	ピピー	初期設定完了時 各機能の設定完了時 スペアリモコンのID書き込み完了時
6	ブブー	各機能の設定完了時
7	ピー	アイドリング時間「10分」設定完了時
8	ピーピー	アイドリング時間「20分」設定完了時
9	ピーピーピー	アイドリング時間「30分」設定完了時
10	ブーブフ	初期設定が行われていないとき シフトレバーがPポジション以外に入っているとき
11	ブフ	運転席ドアが開いたとき、または開いているとき ドアタイマー終了時
12	ブブブ	ボンネットが開いたとき、または開いているとき
13	ブブー	エンジン始動時にIG電圧が低いとき（9V以下） オート検出にて始動後のバッテリー電圧低下時
14	ブブブーブ	エンジン始動時にL端子電圧が既に上がっているとき L端子検出にて始動後のL端子電圧低下時
15	ピビピー↑	オート検出での始動成功時
16	ピビビーピ↑	L端子検出での始動成功時
17	ピロピロ↓	アイドリングタイマー終了してエンジン停止時
18	ピッピッピッ…	ドアタイマー／アフターアイドリングのカウント中
19	ピビビビ…	ドアタイマー／アフターアイドリング終了5秒前から
20	ピロロロッピピー↑	設定のリセット完了時
21	ブーブフ	イモビ対応ユニット通信エラー時
22	ピーッ ピーッ …	ローリングコードエラー時

○印は、エンジンが始動しないとき、またはエンジンが停止したとき（アイドリング終了時）に発音します。

4 電池交換について

電池の交換時期について

「START」操作をしてリモコンがアンサー・バック表示をした後、電池消耗をお知らせした（ブザーが「ブッ ブッ ブッ ブッ」と4回鳴る）場合は、電池が消耗してきてるので早めに新しい電池と交換してください。（※1）

電池寿命の目安

約1年間（1シーズン）の使用を目安に、定期的な電池交換をおすすめします。（※2）

使用電池（CR2032×2個）

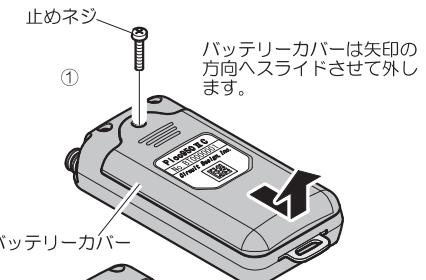
交換する時は、必ず2個とも新しい電池に交換してください。

※1 電池は消耗していくと、特に低温時に性能が低下してきます。このため極低温の環境でリモコンを使用した場合、電池消耗をお知らせせずに作動しなくなることがあります。

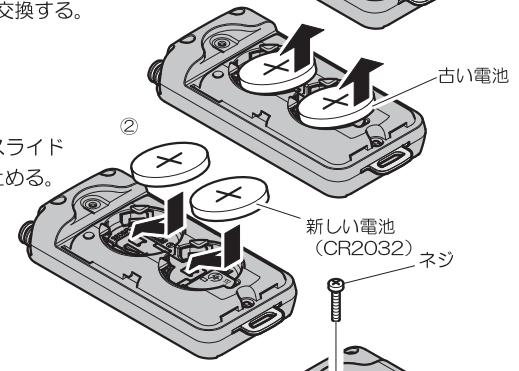
※2 電池寿命は、使用する環境、条件によって異なります。なお、工場出荷時にリモコンに装着されている電池はモニター用のため、記載より短い期間で消耗する場合がありますのでご了承ください。

電池交換のしかた

- 1 リモコン裏側のカバー止めネジ（1本）を外し、バッテリーカバーを矢印の方向へスライドさせて取り外す。



- 2 古い電池を取り外し、+側が上になるように新しい電池（CR2032×2個）と交換する。



- 3 バッテリーカバーを矢印の方向へスライドさせて取り付け、ネジ（1本）を止める。



●ネジの取り外しと固定には、必ず精密ドライバー（+）を使用してください。

●バッテリーカバーは、隙間の無いように取り付けして、確実にネジを止めてください。バッテリーカバーの取り付けが不完全な場合は、リモコン内部に水が入りやすくなり故障の原因となります。

バッテリーカバーを矢印の方向へ押しながらネジを止めてください。

5 主な仕様

■リモコン

送信周波数	920MHz帯（特定小電力無線機器）
送信出力	10mW 以下
アンテナ	2段ロッド
スイッチ	START / STOP
送受信確認	ブザー&LED
電池消耗確認	ブザー
使用電池	リチウム電池 CR2032×2個
防水対応	JIS 保護等級IPX2相当
動作温度範囲	-20°C～+70°C
寸法	68mm×34mm×16mm（突起部含まず）
重量	36g（電池含む）

■リレーユニット

送信周波数	920MHz帯（特定小電力無線機器）
送信出力	15mw 以下
電源電圧	DC9～16V（12V車専用）
消費電流	10mA（待受時平均値）
動作確認	ブザーにより、車両側の動作状態を発音
動作温度範囲	-30°C～+70°C
寸法	125mm×57mm×25mm（突起部含まず）
重量	105g

■アンテナユニット

方式・取付方法	ダッシュボードサイド取り付けタイプ
使用温度範囲	-30°C～+95°C
寸法	70mm×24mm×12.5mm（エレメント含まず）
重量	45g（ケーブルを含む）
ケーブル長さ	1500mm

※仕様及び外観は、改良のため予告無く変更することがあります。

6 スペアリモコンについて

●リモコンを紛失または破損（修理不可能）した場合に、有償でスペアリモコンを作成することができます。保証書またはリレーユニットのシリアルナンバーを確認の上、販売店または取扱店へ注文してください。

●スペアリモコンのID書き込み、及び作動確認手順

操作	送信音	リレーユニットのブザー音	備考
車両のIG電源「ON」			受付時間10秒以内
「START」&「STOP」	ピピピッ	ピロッ	受付時間10秒以内
「STOP」	ピピッ	ピピー	ID書き完了
車両のIG電源「OFF」			
「START」	ピコッ	(エンジン始動)	

●書き完了しても「START」操作でエンジンが始動しない場合は登録ができていません。最初からやり直してください。

●スペアリモコンのID書き込みが完了すると、今までのリモコンは使えなくなります。またリモコンを2個以上注文されても、1台の車両に対して使用できるのは1台のリモコンのみです。

●リレーユニットを取り外した場合、38ページの「リレーユニットの取り付け」と「取り付け後の配線処理」に従って取り付けを行ってください。

保証規定

本製品は厳重な品質管理のもとに製造され検査に合格し出荷されておりますが、お客様の正常な状態でのご使用中、万一故障が発生した場合には、本保証書の記載内容に基づき無償修理をさせていただきます。

1. 保証の期間内において、本製品を取扱説明に従った正常な使い方で故障が発生した場合は、お買い上げの販売店を窓口として無償にて修理いたします。
2. 保証の期間はお買い上げの日より36カ月（3年間）とします。
3. 保証期間内であっても下記に該当する場合は保証の対象にはなりません。
 - A) お客様による取り扱い時の落下、衝撃、またはお客様の取り扱いが適切でないために生じた故障、損傷。
 - B) 当社の技術者以外の方が修理・分解・調整・改造等をされたもの。
 - C) 電池の液漏れによる故障、損傷。
 - D) 火災、地震、台風等の天変地異や、その他不可抗力による故障、損傷。
 - E) 保証書の無い場合、またはご提示の無い場合。
 - F) 保証書に規定の記載及び店印の無い場合。
4. 消耗部品（電池、アンテナ等）やリモコンのケース破損は保証対象外です。
5. 修理によって生じた交換部品は原則としてお返しいたしません。
6. 本保証書は再発行いたしません。紛失しないよう、大切に保管してください。
7. 保証期間内に修理を依頼する際は、製品に本保証書を添付の上、お買い上げの販売店にご用命ください。
8. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in JAPAN.

※本保証書は、本書に明示した期間と条件のもとに無償修理をお約束するものであり、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

なお、保証期間経過後の修理についてはお買い上げの販売店までお問い合わせください。